



ミライレンタルサーバ移行手順書【2019/10/18 版】

発行者：

〒503-0006 岐阜県大垣市加賀野 4-1-12

株式会社ミライコミュニケーションネットワーク

TEL:0584-78-7810 FAX:0584-82-3250

MAIL: support@mirai.ad.jp

このたびは、ミライレンタルサーバサービス「MRS-NX シリーズ」にご契約をいただき、誠にありがとうございます。本紙には、**MRS 旧プラン(MRS Lite ・ MRS Lite プラス)** から MRS-NX Lite への移行手順が記載されております。内容をご確認の上、ウェブサイト及びメールの移行作業を行ってください。

また、管理画面内に**管理画面操作マニュアル**がございますので、あわせてご覧ください。

はじめに：移行のおおまかな流れ

移行申請

データ移行

DNS 切替

完了

【重要】

MRS-Lite ・ MRS Lite プラスから移行されるお客様

2020 年 1 月 31 日をもって上記サービスは提供を終了いたします。

必ず上記日付までに移行を完了してください。

移行手順

STEP 1 【移行支援ツール】旧 MRS 管理画面上で移行申請をし、移行支援ツールを実行する

- 移行申請を行うと、MRS-NX のアカウントが発行されます。
- MRS-NX 管理画面情報が表示されているページにある「**移行支援ツール**」を使って、旧 MRS のサーバからドメイン(ホスト)、Web サイト、メールアドレス、メーリングリスト等の設定情報を MRS-NX にインポートします。

※移行支援ツールの実行だけで移行は完了しません。

移行支援ツールによって「移行されるもの・移行されないもの」については、移行支援ツール実行画面の表記または本書の別表を必ずご確認ください。

▼移行支援ツール画面(旧 MRS 管理画面)

※移行支援ツールを実行した後、MRS-NX の管理画面に、メールアドレス等がインポートされていることをご確認ください。

STEP 2

【ウェブ】ウェブサイトのデータを FTP ソフト等でウェブ領域にアップロードする

- MRS-NX の FTP サーバに接続し、ウェブコンテンツをアップロードしてください。

※MRS-NX は PHP のバージョンを選択することができます。必要に応じて PHP のバージョンを変更してください。

管理者 FTP-ID・パスワード

MRS-NX 管理画面内：アカウント設定メニュー内に表示されます

アカウント設定 ①

ログイン情報

ログインID

パスワード

メールアドレス

SSH接続 (ポート番号:20022)

SSH 秘密鍵

ドメインセンター

ID

パスワード

FTP

ID

パスワード

接続許可ホスト

領域ごとの FTP-ID・パスワード

MRS-NX 管理画面内：ウェブサイト設定メニューで作成・確認できます

Webサイト管理 ①

Webサイトの追加

Webサイト一覧

URL	PHP	証明書	操作
	7.2	Let's Encrypt	

ログインID

パスワード

自動生成

FTP

接続許可ホスト

FTP ソフト・その他の設定ガイド

<http://support.mirai.ad.jp/mrs/>

- ウェブコンテンツをアップロードした後、必要に応じてパーミッションやプログラムの調整を行ってください。
- 旧 MRS においてデータベースを使用されていた場合は、データベースの管理画面(PHPMyAdmin 等)からデータをエクスポートし、MRS-NX 側のデータベースにインポートしてください。

- 上記の作業が完了した後、ウェブサイトの表示確認を行ってください。

※この時点で独自ドメイン・旧 MRS から引き継がれた無料ドメインの URL(http://***.pvsa.mmrs.jp)にアクセスしても、旧サイトが表示されます。

サイトの表示確認をするため、MRS-NX 側で無料ドメインを追加し、サーバエイリアス設定を追加する必要があります。(無料ドメインでのアクセスは http のみ確認可能です。)

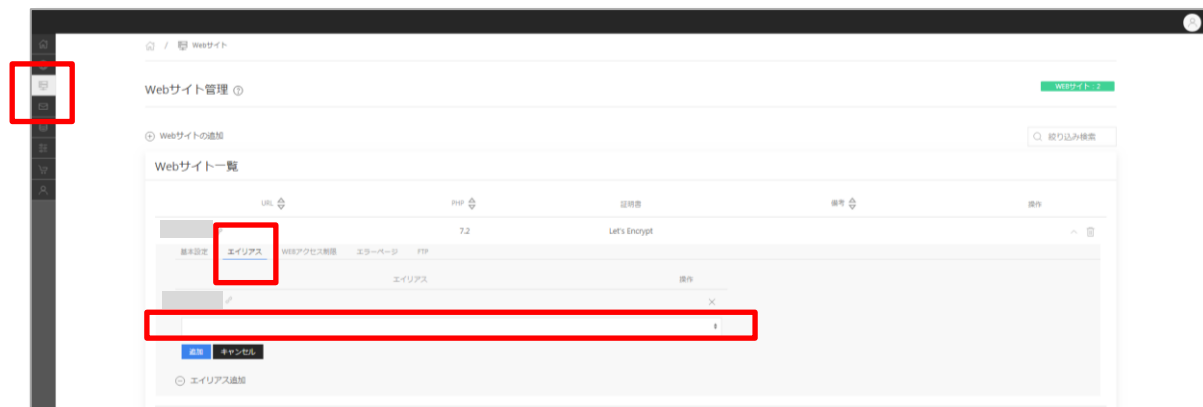
無料ドメイン作成

MRS-NX 管理画面内：ドメイン管理メニューで作成できます



エイリアス設定

MRS-NX 管理画面内：ウェブサイト設定メニューで設定できます



※エイリアスについて

旧 MRS において一つの領域に複数のドメインが設定されている場合、移行支援ツールを実行すると MRS-NX 側ではそれぞれ別の WEB サイトとして領域が作成されます。WEB サイトの URL 毎にドキュメントルート(WEB データの保存領域)が異なります。

同じ領域を複数のドメインで参照できるようにするには、WEB サイト一覧にメインで使用する WEB サイトのみを残して他の WEB サイトの設定を削除してください。その後、メインで使用する WEB サイトのドメインをエイリアスに追加してください。

WEB サイト設定を削除しても、サーバ上(FTP)のディレクトリは削除されずに残っていますので不要であれば削除してください。

以上で、ウェブサイトの移行作業は完了です。

STEP 3 【メール】メールソフトの設定を変更する

- MRS 旧プランから MRS-NX シリーズに移行する際に漏れなくメールを受信するために、メールソフトに新旧 2 つのアカウント設定を行い併用して受信します。

以降の内容をご確認の上メールソフトの設定を行ってください。

※代表的なメールソフトの例として【Microsoft Outlook 2016】の手順を記載しております。その他のメールソフトの操作画面につきましては、下記のマニュアルページをご覧ください。

メールソフト設定ガイド

<http://support.mirai.ad.jp/mrs/>

メール設定情報の確認

MRS-NX 管理画面内：メール設定メニューで確認できます



①旧 MRS メールサーバのサーバ名を IP アドレスに変更する方法

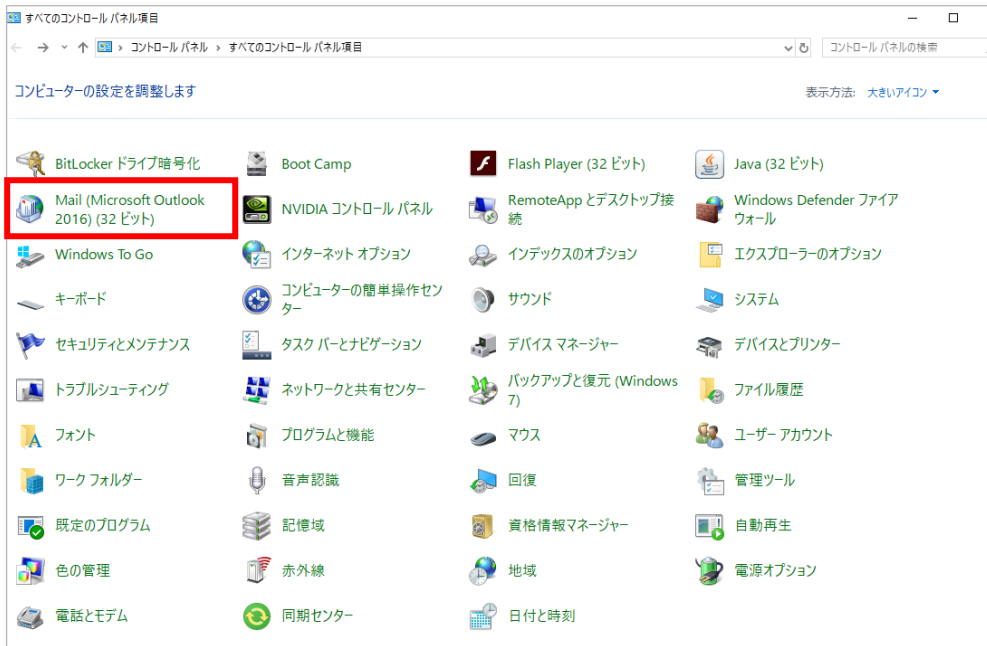
参考 Outlook2016 設定方法

1. スタートメニューの「Windows システムツール」一覧から「コントロールパネル」を選択します。

コントロールパネルで、「Mail (Microsoft Outlook 2016)」を選択します。

※ 下の画像と画面が異なる場合は画面右上の「表示方法」を[大きいアイコン]へ変更してください。

※ 「Outlook 2019」をご利用でも「Mail (Microsoft Outlook 2016)」と表示されている場合があります。



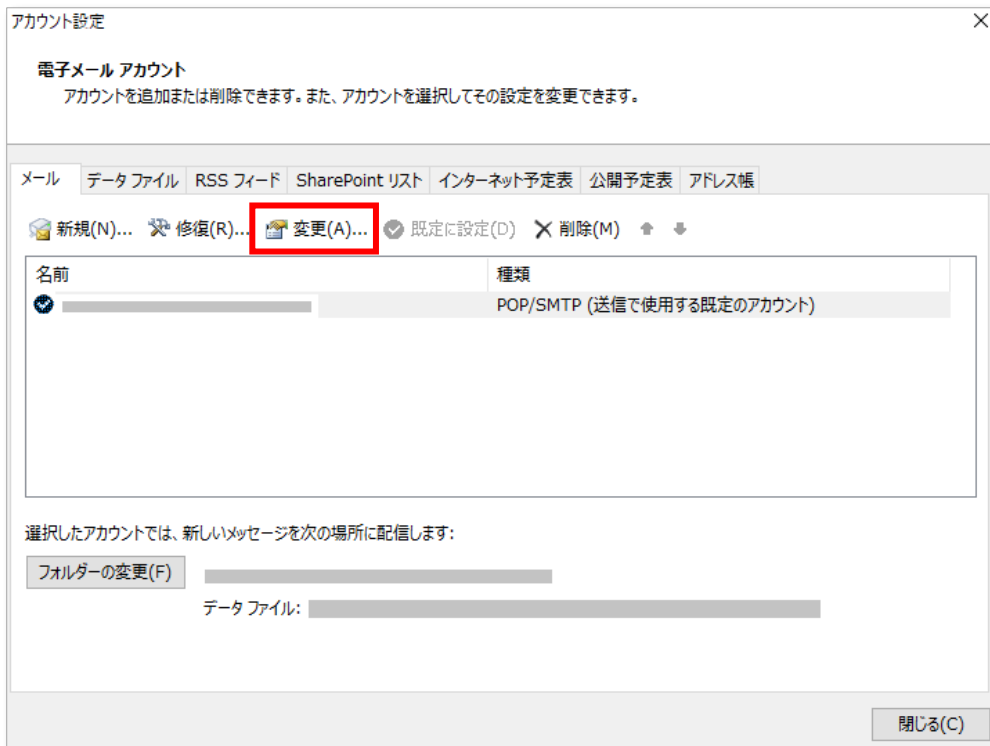
2. 「電子メールアカウント(E)...」を選択します。



3. 電子メールアカウント画面が表示されます。

「電子メール」タブを選択し、設定を変更したいアカウントを選択して「変更(A)…」ボタンをクリックします。

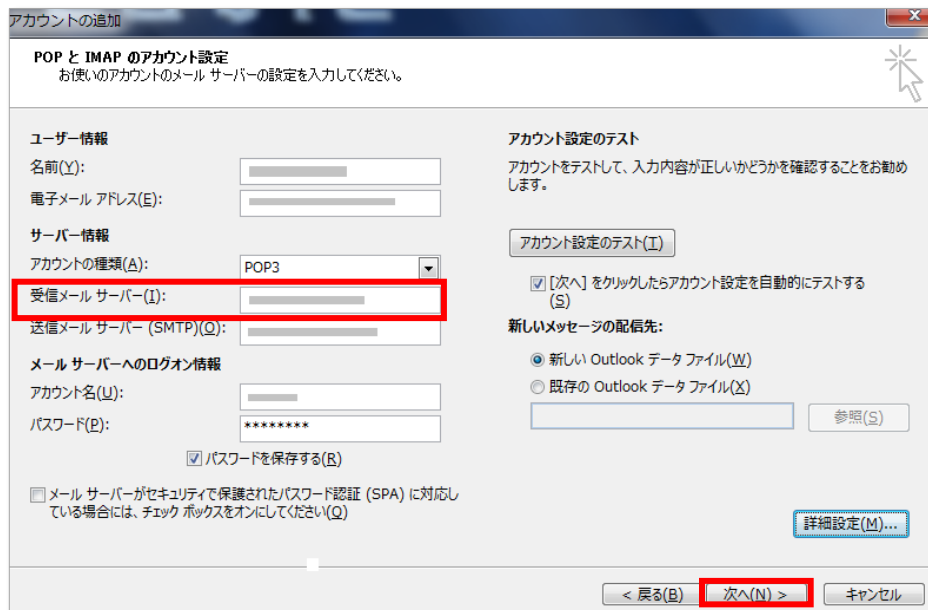
※ バージョンによって、「メール」タブの場合がございます。



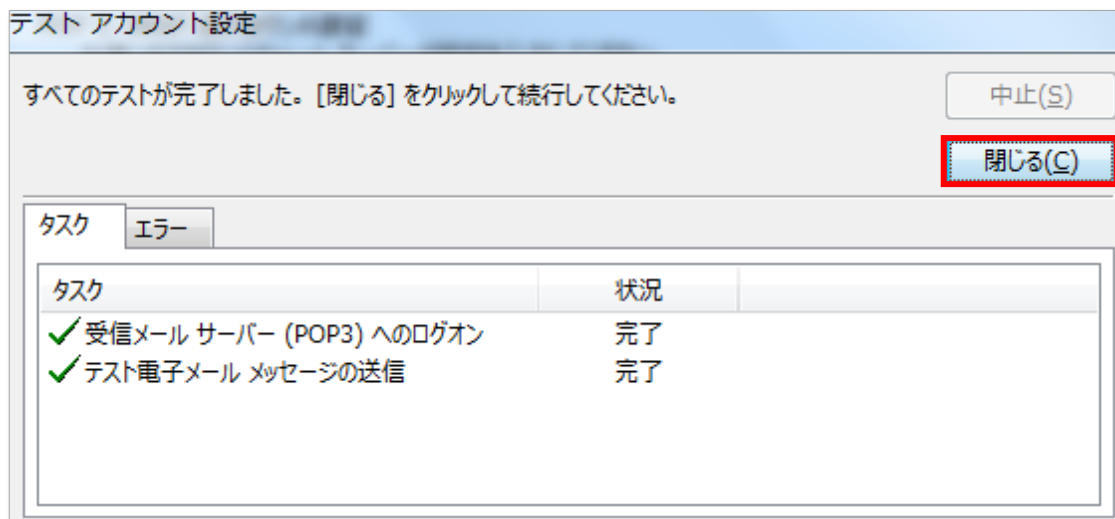
4. 「POP と IMAP のアカウント設定」画面が表示されます。

「受信メールサーバー(I)」に入力されている情報を、旧 MRS の IP アドレスに変更し、「次へ(N)」ボタンをクリックします。

※旧 MRS の IP アドレスは、▼別表：「受信メールサーバ」に設定する、旧 MRS の IP アドレス一覧表でご確認ください。



5. 「テスト アカウント設定」画面が表示されます。「閉じる(C)」ボタンをクリックします。



6. 「完了画面」表示されます

「完了」ボタンをクリックします



7. メールの送受信ができることを確認してください。

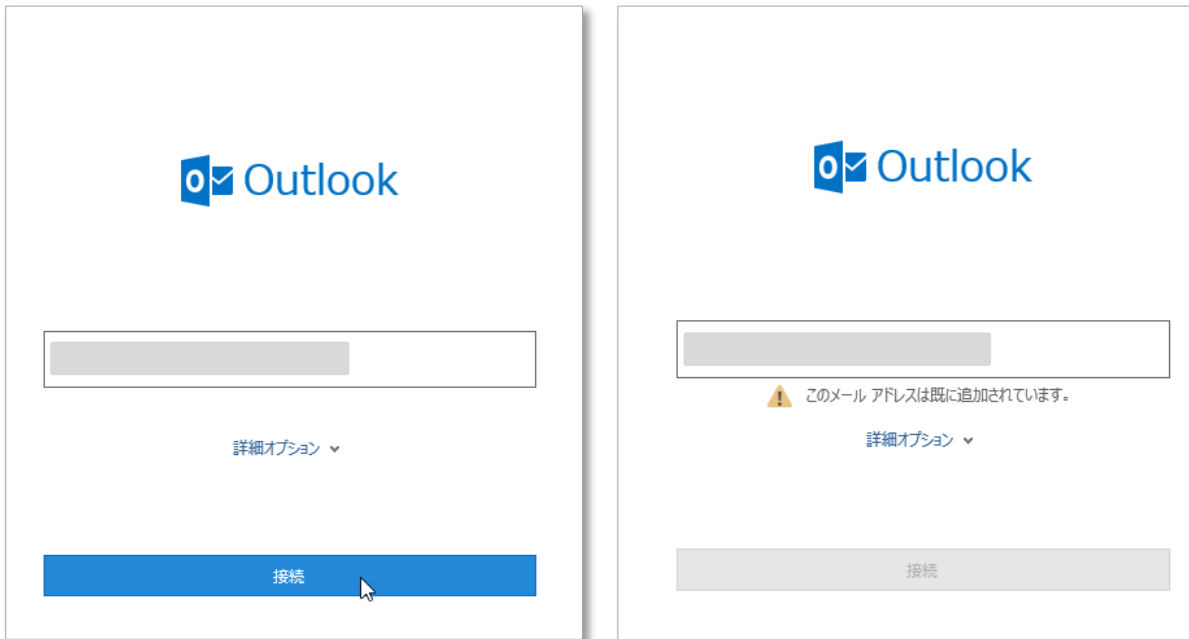
<以上でメールの設定変更は完了です>

②MRS-NX のメールサーバのアカウント追加設定手順

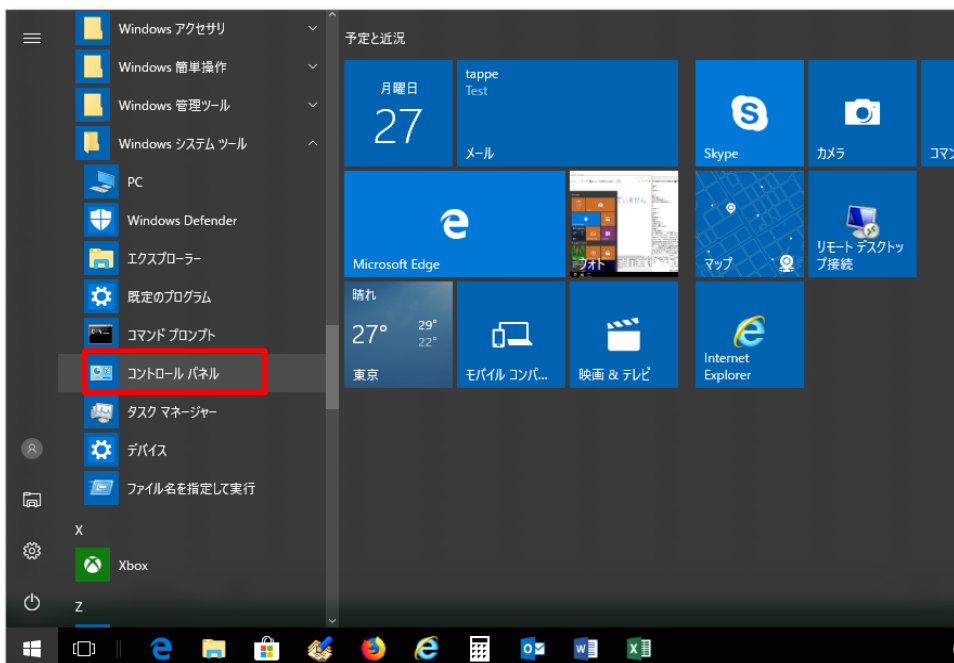
参考 Outlook2016 設定手順

※メールサーバ移行に伴い、Outlook2016 に同じメールアドレスを追加しようとすると、「このメールアドレスは既に追加されています。」というエラーとなり、同じメールアドレスを設定することができません。下記の手順でアカウント設定を行ってください。

▼参考：Outlook2016 に同じメールアドレスを追加しようとした際に表示されるエラー

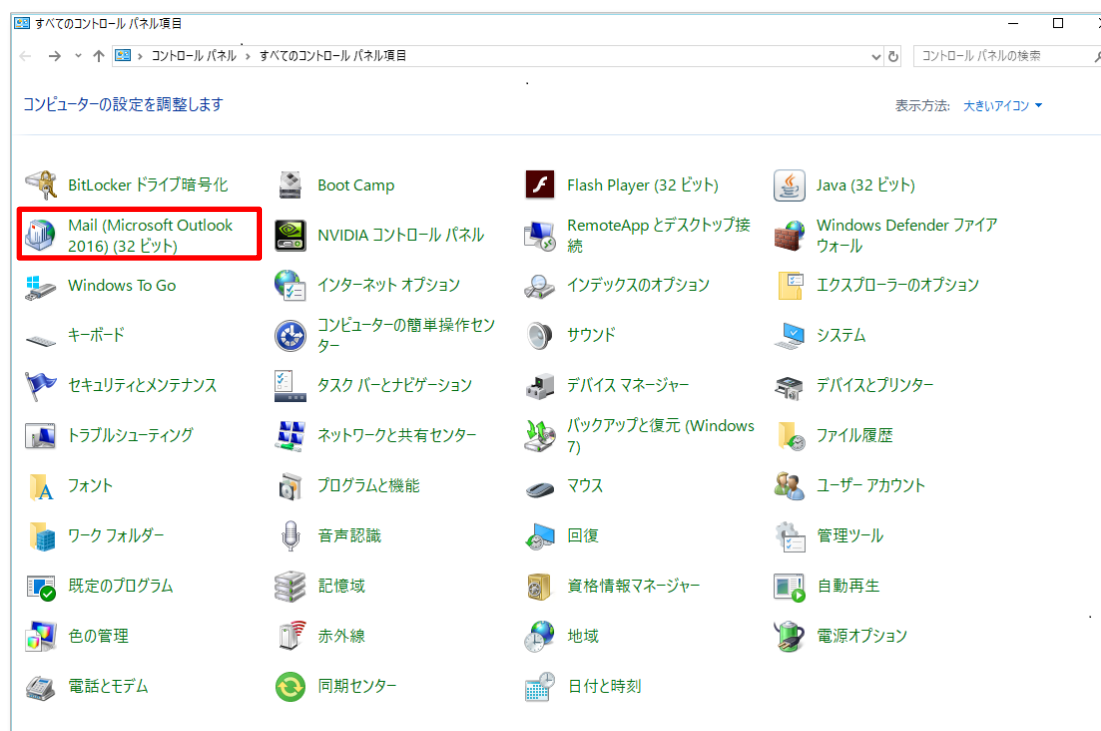


1. スタートメニューの「Windows システムツール」一覧から「コントロールパネル」を選択します。

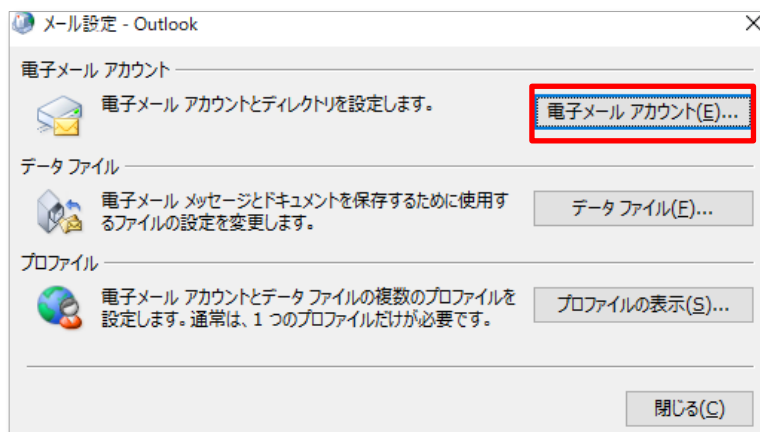


2.コントロールパネルにて「Mail (Outlook2016)」をクリックします。

※画面右上の表示方法が「カテゴリ」の場合は、「Mail (Outlook2016)」が表示されないため、表示方法を「カテゴリ」から「大きいアイコン」もしくは「小さいアイコン」に変更します。



3. 「メール設定」画面にて「電子メールアカウント」をクリックしアカウント設定画面を開きます。

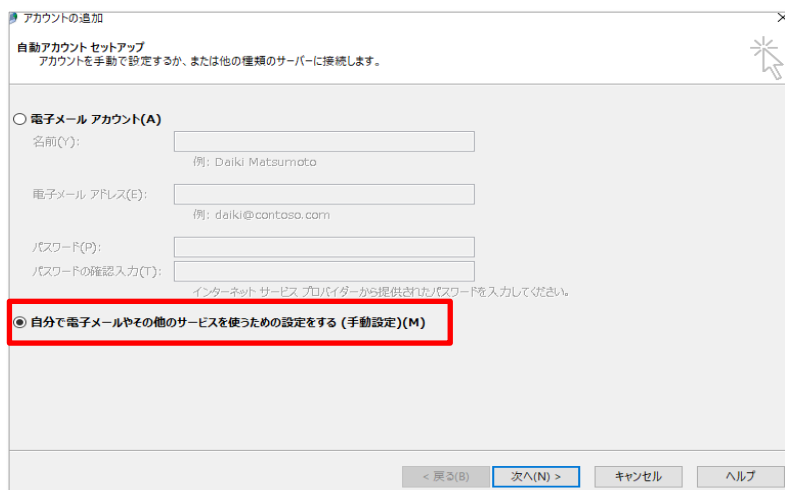


4. 「アカウント設定」画面にて「新規」をクリックします。



5. 「アカウントの追加」の自動アカウントセットアップ画面が表示されます。

「自分で電子メールやその他のサービスを使うための設定をする(手動設定)(M)」を選択し「次へ(N)」ボタンをクリックします。



6. 「サービスの選択」画面が表示されます。

「POP または IMAP(P)」を選択し「次へ(N)」ボタンをクリックします。



7. 「POP と IMAP のアカウント設定」画面が表示されます。

ユーザー情報

「名前(Y)」：メールを送信したときに、相手のメールソフトの「差出人」欄に表示される名前です。
お客様のお名前やニックネームなどを入力してください。

「電子メールアドレス(E)」：お客様の電子メールアドレスを入力します。電子メールアドレスは、半角英数の小文字で入力してください。

サーバ情報 ※1

「受信メールサーバ(I)」：mail.お客様のドメイン名
「送信メールサーバ(SMTP)(O)」：mail.お客様のドメイン名

メールサーバへのログオン情報

「アカウント名(U)」：お客様のメールアドレス
「パスワード(P)」：お客様のメールアドレスのパスワード

※1 [POP3・IMAPS]でメールを使用されるお客様は、以下のメールサーバ情報を設定してください。

「受信メールサーバ(I)」：sv * * .mcnx.jp
「送信メールサーバ(SMTP)(O)」：sv * * .mcnx.jp

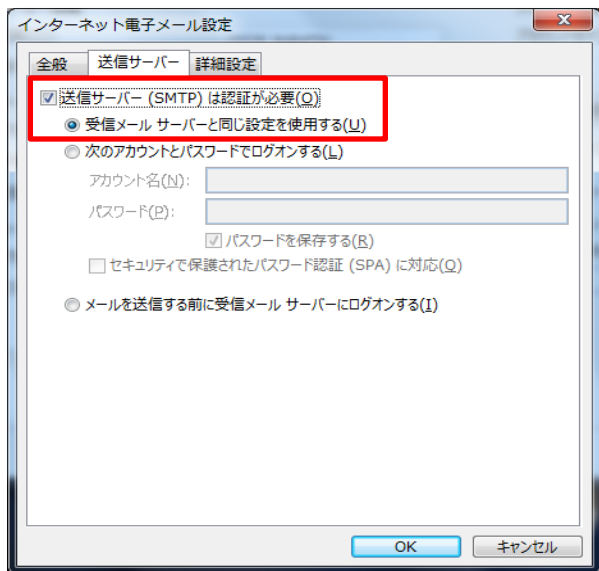
※ * * は収容されているサーバ毎に異なります。MRS-NX 管理画面内でご確認ください。

入力後、「詳細設定」ボタンをクリックします。

8. 「インターネット電子メール設定」画面より「送信サーバー」タブを選択します。

「送信サーバー(SMTP)は認証が必要(O)」にチェックを入れます。

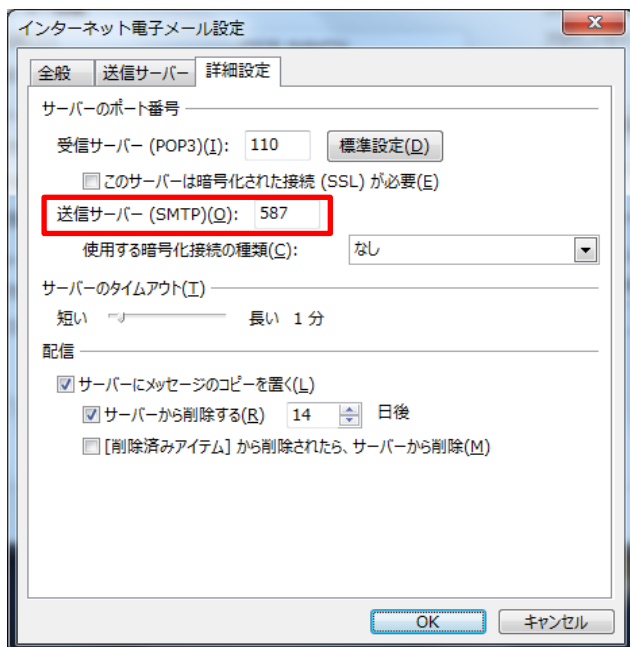
「受信メールサーバーと同じ設定を使用する(U)」を選択します。



9. 「詳細設定」タブを選択します。

サーバーのポート番号項目にある「送信サーバー(SMTP)(O)」の数値を「587」に変更します。

設定後、「OK」ボタンをクリックします。



10. 「POP と IMAP のアカウント設定」画面にもどります。「次へ(N)」ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'POP and IMAP Account Settings' dialog box. It contains fields for user information (name, email), server information (account type, incoming/outgoing servers), and login information (username, password). There are also checkboxes for saving the password and security options. A 'Test Account Settings' section is on the right. The 'Next (N)' button at the bottom is highlighted with a red rectangle.

11. 「テスト アカウント設定」画面が表示されます。「閉じる(C)」ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'Test Account Settings' dialog box. It displays a message indicating that all tests are complete. Below the message is a table showing the results of the tests. The 'Close (C)' button is highlighted with a red rectangle.

タスク	エラー
タスク	状況
✓ 受信メール サーバー (POP3) へのログイン	完了
✓ テスト電子メール メッセージの送信	完了

12. 「完了画面」表示されます

The screenshot shows the 'Completed' dialog box. It displays a message indicating that the account setup is complete. The 'Done' button at the bottom is highlighted with a red rectangle.

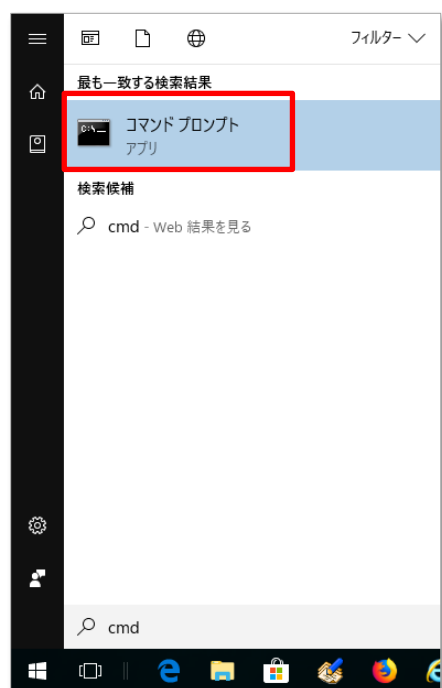
「完了」ボタンをクリックします。＜以上でメールの追加設定は完了です。＞

▼別表：「受信メールサーバ」に設定する、旧 MRS の IP アドレス一覧表

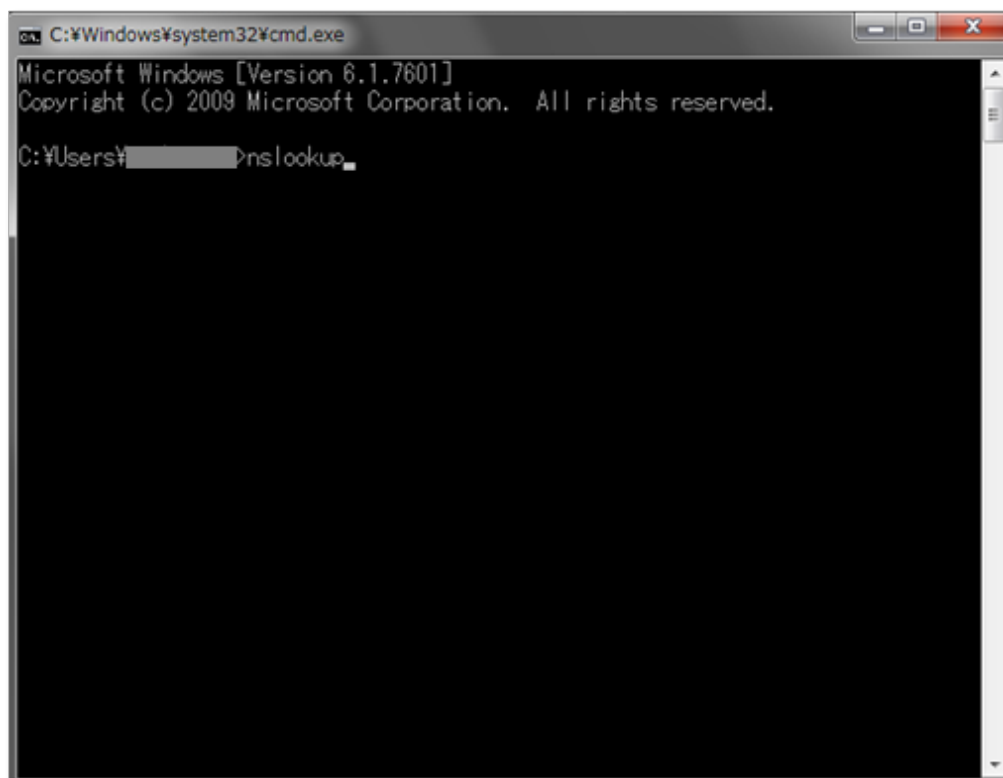
旧 MRS サービス名		現在の受信メールサーバ名	IP アドレス
MRS Lite		mail.お客様のドメイン名	210.172.192.73
MRS-Value・Basic ※収容サーバの調べ方は下記をご参照ください。	収容サーバ：vmw4	mail.お客様のドメイン名	210.172.192.27
	収容サーバ：vmw5	mail.お客様のドメイン名	210.172.192.37
	収容サーバ：vmw6	mail.お客様のドメイン名	210.172.192.38
	収容サーバ：vmw7	mail.お客様のドメイン名	210.172.192.39
	収容サーバ：vmw8	mail.お客様のドメイン名	210.172.192.48
	収容サーバ：vmw9	mail.お客様のドメイン名	210.172.192.49
	収容サーバ：vmw10	mail.お客様のドメイン名	210.172.192.50
MRS Lite プラス		pvsa.mmrs.jp または mail.お客様のドメイン名	210.172.218.39
MRS エントリー,スタンダード,ビジネス	ログイン ID：*** -sv1	acs1.mmrs.jp	210.172.218.27
	ログイン ID：*** -sv2	acs2.mmrs.jp	210.172.218.28
	ログイン ID：*** -sv3	acs3.mmrs.jp	210.172.219.11
MRS エントリー,スタンダード,ビジネス (V2)	ログイン ID：*** -sv4	acs4.mmrs.jp	210.172.219.12
	ログイン ID：*** -sv5	acs5.mmrs.jp	210.172.222.77

▼MRS-Value・Basic のお客様向け：収容サーバの調べ方(Windows 10 の場合)

1. スタートボタンをクリックし、キーボードで「cmd」と検索してください。
「コマンドプロンプト」をクリックしてください。



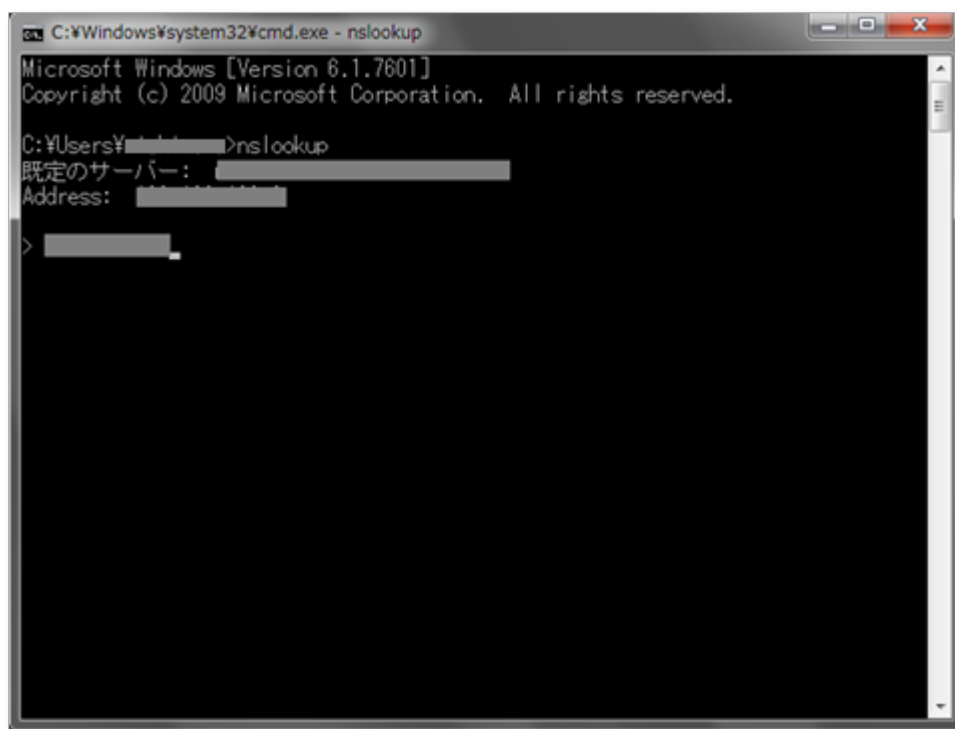
2. 「nslookup」と入力し、エンターキーを押してください。



```
C:\Windows\system32\cmd.exe
Microsoft Windows [Version 6.1.7601]
Copyright (c) 2009 Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Users\>nslookup_
```

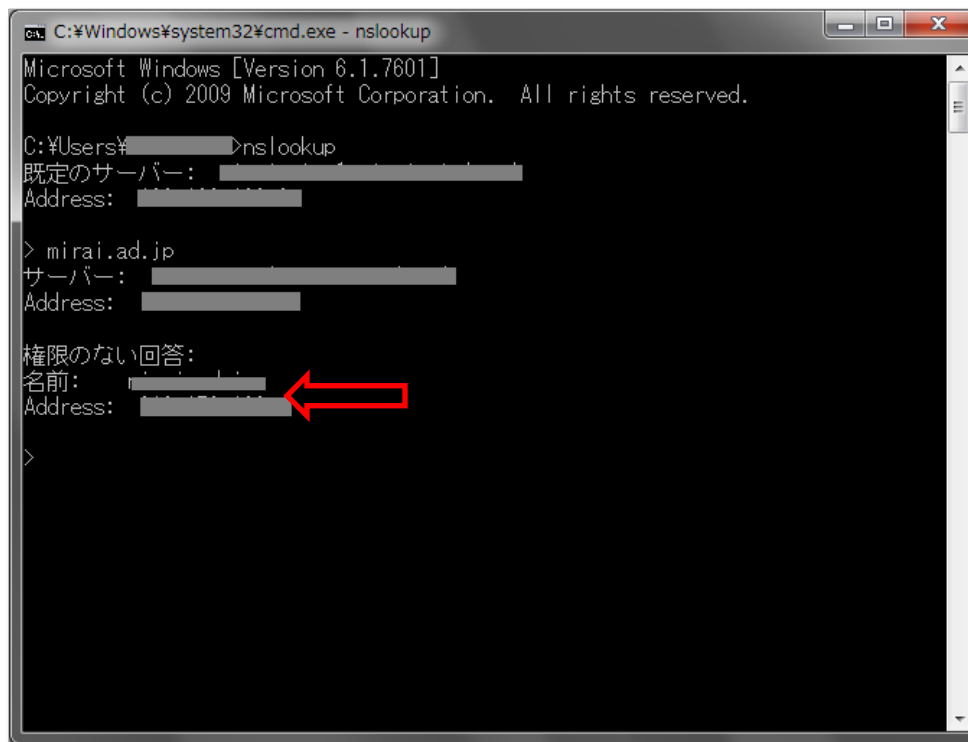
3. ドメイン名を入力し、エンターキーを押してください。



```
C:\Windows\system32\cmd.exe - nslookup
Microsoft Windows [Version 6.1.7601]
Copyright (c) 2009 Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Users\>nslookup
既定のサーバー: 
Address: 
> 
```


4.ドメイン名の下「Address」に出てきた IP アドレスが、ご契約サーバの IP アドレスです。



※「別表:「受信メールサーバ」に設定する、旧 MRS の IP アドレス一覧表」に記載されている IP アドレス以外の IP アドレスが表示された場合や、操作方法がご不明な場合は、弊社にてご契約サーバをお調べいたします。以下情報と共にお問い合わせください。

- ・ご契約者名
- ・ドメイン名

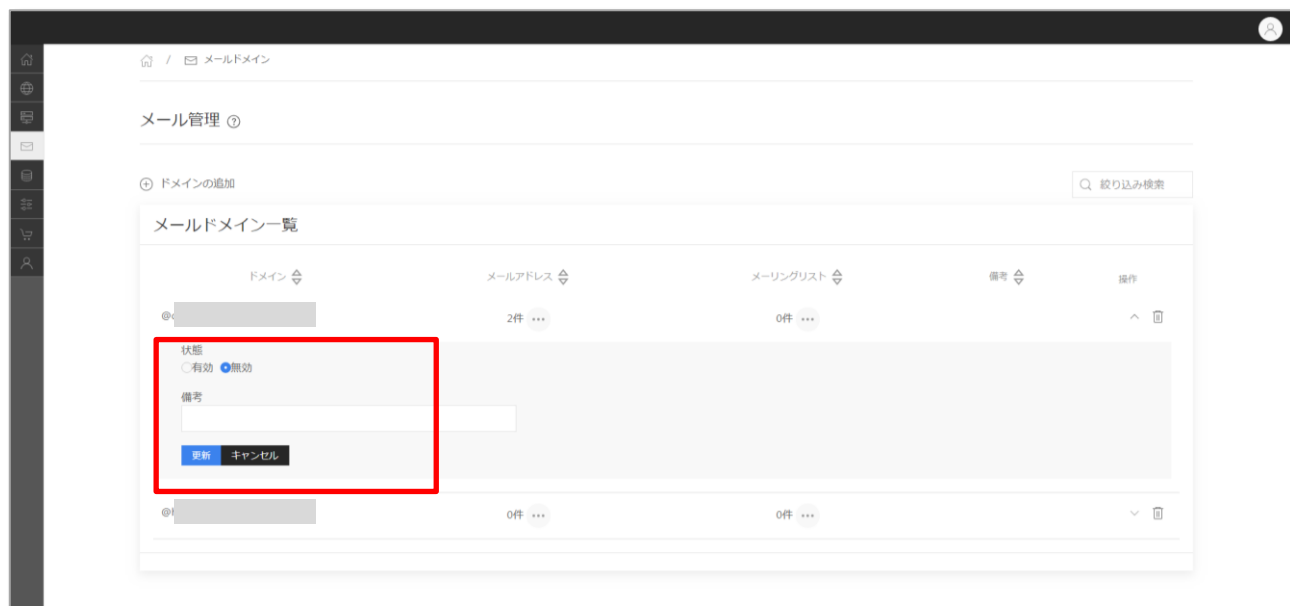
- ここまでの作業が完了しましたら、ドメインのネームサーバを切り替える際に、メールのローカル配送を「有効」に変更してください。

(移行支援ツールによりインポートされたメールアドレスは、ローカル配送「無効」の状態になっています。)

メールのローカル配送を有効にする MRS-NX 管理画面内：メール設定メニューで操作ができます



※この操作を行わないと、外部からはメールが届いても同じドメインからのメールが届きません。
必ずドメインのネームサーバを切り替えるのと同じタイミングでこの操作を行ってください。



この操作が完了しましたら、「STEP 4 ドメインの Whois ネームサーバ情報を変更する」に進んでください。

※ 何らかの理由でメールソフトの設定変更が不可能なお客様 ※

何らかの理由でメールソフトの設定変更が不可能なお客様につきましては、メールソフトの設定変更作業を行わず、下記のメールサーバ情報をそのままご利用いただけます。ただし、メールサーバの切り替え期間においてメールの取りこぼしが発生する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

▼旧 MRS 側の受信メールサーバ・送信メールサーバ設定情報

旧 MRS サービス名	受信メールサーバ	送信メールサーバ
MRS Lite・MRS Lite プラス	mail.お客様のドメイン名 ※1	mail.お客様のドメイン名 ※1
MRS Lite プラス	pvsammmrs.jp ※2	pvsammmrs.jp ※2

※1 「mail.お客様のドメイン名」を使用されているお客様につきましては、MRS Lite・MRS Lite プラス提供終了日である【2020/1/31】までに、お客様にてドメインの Whois ネームサーバ情報を変更してください。

また、お客様にてドメインの Whois ネームサーバ情報を変更する直前に、以下の操作(ローカル配送を有効にする)を行ってください。

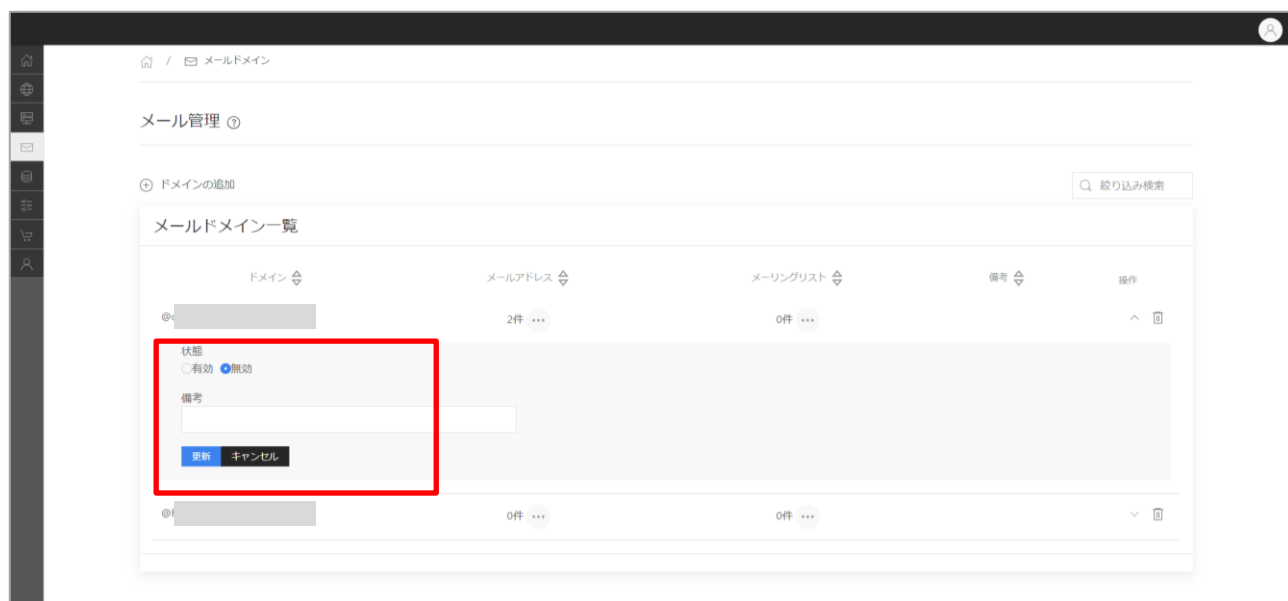
※2 「pvsammmrs.jp」を使用されているお客様につきましては、MRS Lite・MRS Lite プラス提供終了日である【2020/1/31】にミライネットで切替作業を行います。そのため、【2020/1/31】までの期間は、旧 MRS のメールサーバでのメールの送受信・アドレスの作成や受信拒否設定等の管理画面操作を行うことになります。

MRS Lite・MRS Lite プラス提供終了日である【2020/1/31】に、以下の操作(ローカル配送を有効にする)を行ってください。

※この操作を行わないと、外部からはメールが届いても同じドメインからのメールが届きません。
必ずこの操作を行ってください。

(移行支援ツールでインポートされたメールアドレスは、状態(ローカル配送)が「無効」になっています。)

メールのローカル配送を有効にする MRS-NX 管理画面内：メール設定メニューで操作ができます



STEP 4 ドメインの Whois ネームサーバ情報を変更する

- ミライネットでドメイン管理を行っている場合は、MRS-NX の管理画面上で Whois ネームサーバ情報を変更することができます。

ドメインのネームサーバを変更する MRS-NX 管理画面内：ドメイン管理メニューで操作ができます

- ミライネット以外でドメイン管理を行っている場合は、ドメインの管理をされている会社のコントロールパネル上での操作か、管理会社にて下記情報への変更をご依頼いただく必要があります。

【 ネームサーバ 1 】	ns1.mcnx.jp	[210.172.222.213]
【 ネームサーバ 2 】	ns2.mcnx.jp	[210.172.218.182]

- 旧 MRS の無料ドメインを MRS-NX でも引き続き使用される場合は、お客様側で変更していただくことができません。(例：URL http://***.pvsa.mmrs.jp メールアドレス ***@***.pvsa.mmrs.jp)
ミライネットにてお客様ごとに手動で切り替え作業を行わせていただきますので、**切替希望日時の3日前までに**メールで下記内容をもってご依頼ください。

依頼先メールアドレス	mrs@mirai.ad.jp		
メールの件名	無料ドメイン切替依頼		
本文	契約者名		
	連絡先メールアドレス		
	MRS-NX のログイン ID	u で始まる ID を記入してください。	
	該当の無料ドメイン	例：***.pvsa.mmrs.jp	
	作業希望日時	年 月 日 時	平日 10:00～17:00 の間で指定してください。

※ネームサーバ情報を変更した後、DNS 情報が他の DNS サーバに行き渡るまでには、数日から1週間程度必要となります。

以上で、サーバ移行は完了となります。

別表：新サービスサーバへの移行支援機能のご紹介

* STEP1 の移行支援ツールボタンクリックにより下記の通りデータが移行されます。

移行対象	移行できるもの	移行できないもの
メール ※1 ※2	・メールアドレス ・パスワード ・MRS で登録された設定 (転送,受信拒否,自動返信, メール通知,迷惑メールフィルター)	・メールパイプ ・サーバ上のメールスプール
ウェブ ※3 ※4	・ウェブ領域の設定 ・SSL/TLS サーバ証明書 ・SSL 用 URL	・ウェブコンテンツ ・ウェブ領域に設定した FTP-ID ・アクセス自動振り分け ・エラーページカスタマイズ ・アクセス制限 ・FTP アクセス制限 ・無料ログ解析
ドメイン	・DNS サーバへのドメイン追加 ・MRS で登録されたホスト情報 (A,MX,TXT,CNAME レコード等)の 登録	-
データベース ※5	-	・PostgreSQL のデータベース ・MySQL のデータベース
開発支援	-	・CRON 設定
簡易 CGI プログラム ※6	-	・カウンターCGI ・メールフォーム CGI

※1 メールソフトで送受信をされるお客様は、メールアドレスごとにメールソフトの設定変更が必要です。

※2 MRS-NX と実装方法が異なるため、挙動が異なる場合があります。

※3 MRS-NX では、常時 SSL を前提としているため http, https で異なる領域を指定することはできません。
有効な証明書が無い場合は、自己署名証明書を設定します。

※4 FTP 上にあるウェブコンテンツは、旧 MRS からのダウンロードと MRS-NX へのアップロードを行った後、
調整していただく必要があります。

※5 お客様にて、phpMyAdmin 等の管理画面からエクスポートして移行を行っていただく必要があります。

※6 MRS-NX では、カウンターCGI・メールフォーム CGI の提供はございません。お客様にて代替サービスをご用意ください。